



2020年10月28日

# 2020年度（2021年3月期） 第2四半期 決算説明資料

 株式会社 日立物流

HITACHI  
Inspire the Next



## I. 2020年度第2四半期 決算概要

全体概要、グループ別、四半期推移、新型コロナウイルス影響、  
売上収益・営業利益増減内訳、海外地域別、受注・立上状況、協創、  
トピックス（提携一部変更・自己株式取得、特許・表彰、統合報告書）

## II. 2020年度 通期見通し

全体概要、グループ別、配当計画

## III. 今後の事業戦略

中期経営計画：LOGISTEED2021進捗

## IV. 補足資料

財政状態、キャッシュ・フローの状況、主要財務指標、営業費用他



# I .2020年度第2四半期 決算概要

(単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%))

	2019年度		2020年度		
	第2四半期累計		第2四半期累計		
	実績	実績	前年同期比		
			比率	増減	
売上収益	3,408	<b>3,064</b>	90%	-343	
営業利益	<4.8> 165.2	<5.0> <b>154.0</b>	93%	-11.2	
EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前四半期利益)	<5.7> 195.9	<7.8> <b>238.4</b>	122%	42.5	
親会社株主に帰属する 四半期利益	<3.2> 108.8	<4.3> <b>131.7</b>	121%	22.9	

※本資料中の営業利益は、「調整後営業利益」を記載



# 2020年度第2四半期 決算概要 (グループ別)

( 単位 : 億円、端数四捨五入、< >内は構成比(% )、( )内は増減差 )

		売上収益			営業利益		
		第2四半期累計	前年同期比	第2四半期累計	前年同期比		
オーガニック	国内物流	<66>	1,818	98%	114.5	102%	
	国際物流	海外	<26>	711	84%	36.8	109%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<5>	130	78%	-0.1	(-1.2)
	計	<31>	842	83%	36.7	105%	
	その他(物流周辺事業等)	<3>	80	86%	5.3	79%	
	計	<100>	<b>2,740</b>	92%	<b>156.6</b>	102%	
バンテックグループ	国内物流	<66>	241	73%	-0.2	(-13.9)	
	国際物流(海外)	<34>	127	77%	1.6	50%	
	計	<100>	<b>368</b>	75%	<b>1.4</b>	8%	
連結消去・バンテック顧客関連資産償却等		-	-43	(+5)	-4.0	(+1.2)	
合計	国内物流	<67>	2,050	94%	110.3	91%	
	国際物流	海外	<27>	822	83%	38.4	107%
		国内会社計上分(フォワーディング他)	<4>	119	78%	-0.1	(-1.2)
	計	<31>	941	82%	38.4	104%	
	その他(物流周辺事業等)	<2>	74	85%	5.3	79%	
	計	<100>	<b>3,064</b>	90%	<b>154.0</b>	93%	



# 2020年度第2四半期 決算概要 (グループ別四半期推移)

(単位：億円、端数四捨五入)

			2020年度						
			第1四半期			第2四半期			
			実績	前年同期		実績	前年同期		
比率	増減	比率		増減					
売上 収益	オーガニック	国内物流	902	98%	-14	917	97%	-24	
		国際物流	海外	321	74%	-113	390	94%	-23
			国内会社計上分	66	79%	-18	64	78%	-19
		計	387	75%	-131	455	92%	-42	
		その他(物流周辺事業等)	39	89%	-5	41	84%	-8	
	計	<b>1,327</b>	90%	-149	<b>1,412</b>	95%	-74		
	バンテック グループ	国内物流	112	69%	-50	129	77%	-38	
		国際物流(海外)	53	64%	-30	73	90%	-8	
		計	<b>166</b>	68%	-79	<b>202</b>	81%	-46	
	営業 利益	オーガニック	国内物流	62.9	116%	8.8	51.7	90%	-6.0
国際物流			海外	12.2	73%	-4.5	24.5	144%	7.5
			国内会社計上分	-1.2	-	-1.6	1.1	146%	0.4
計			11.1	65%	-6.1	25.7	144%	7.9	
その他(物流周辺事業等)			1.7	40%	-2.6	3.6	145%	1.1	
計		<b>75.6</b>	100%	0.2	<b>81.0</b>	104%	2.9		
バンテック グループ		国内物流	-3.5	-	-8.5	3.4	38%	-5.4	
		国際物流(海外)	-0.6	-	-2.2	2.2	137%	0.6	
		計	<b>-4.1</b>	-	<b>-10.7</b>	<b>5.5</b>	54%	-4.8	

・ 2020年度2Q(7-9月)は、オーガニック・バンテックともに海外が復調

(単位：億円)

区分		影響額						
		20年度1Q		20年度2Q		20年度2Q累計		
		売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	
オーガニック	国内	-32	-6.8	-24	-5.7	-56	-12.5	
	国際	北米	-33	-3.5	0	0.7	-33	-2.8
		欧州	-25	-6.3	-10	-1.3	-35	-7.6
		アジア	-6	-1.5	-7	-0.6	-14	-2.1
		中国	3	1.4	0	0.6	3	2.1
		海外計	-61	-9.9	-17	-0.6	-79	-10.5
		VHF※	-9	-2.0	-7	-1.5	-16	-3.5
	その他	-2	-0.4	0	0.0	-2	-0.5	
小計	<b>-104</b>	<b>-19.1</b>	<b>-49</b>	<b>-7.8</b>	<b>-153</b>	<b>-26.9</b>		
バンテックグループ	国内	-33	-12.1	-19	-5.2	-52	-17.3	
	国際	-18	-2.9	-8	-2.0	-27	-4.9	
	小計	<b>-52</b>	<b>-15.0</b>	<b>-27</b>	<b>-7.2</b>	<b>-78</b>	<b>-22.2</b>	
合計 (単純合算値)		<b>-156</b>	<b>-34.1</b>	<b>-76</b>	<b>-15.0</b>	<b>-231</b>	<b>-49.1</b>	

## ・影響は減少傾向

※1 上記数値は事業ベースの概算値(IFRS組替(リース含む)影響及び一部の全社費用配分前)

※2 (株)日立物流バンテックフォワーディングの略称表記

連結損益計算書の、「その他の収益」に補助金(主に海外)等を約10億円計上、「その他の費用」に物流センター・車両の非稼働に伴う固定費等を約16億円計上

## 売上収益実績

(億円)

3,408

新型コロナ  
影響  
▲231

- ・国内/その他事業 : ▲130億
- ・フォーディング/海外事業 : ▲107億
- ・受託領域拡大 : +29億
- <内数>  
バンテックGr : 国内▲36億、国際▲7億

環境変化・  
物量増減他  
▲208

19/2Q累計→20/2Q累計

- ・USD: ¥107 → ¥106
- ・EUR: ¥119 → ¥124
- ・CNY: ¥15.3 → ¥15.4

・パレネット、東流通※  
の連結化  
・HTB※の非連結化  
等

・国内: +52億  
・国際: +34億

協創新規  
+18

3,064

為替影響  
▲19

ポートフォリオ  
戦略の実行  
+10

新規受注  
+86

+104

▲343

項目	新型コロナ 影響	環境変化・物量増減等			為替 影響	ポートフォリオ 戦略実行	新規 受注	協創 新規	計
		その他 物量増減他	受託領域 拡大	小計					
2Q 累計	国内	-108	-127	22	-105	21	52	14	-126
	国際	-121	-107	7	-100	-2	34	3	-205
	その他	-2	-3		-3	-8		1	-13
	計	-231	-237	29	-208	10	86	18	-343

2019年度2Q累計(実績)

2020年度2Q累計(実績)

## 営業利益実績

(億円)

165.2

新型コロナ  
影響  
▲49.1

- ・受託領域拡大 : +2.0億
- ・コスト抑制 : +26.4億
- ・戦略投資 : ▲0.8億
- ・撤退等 : ▲4.2億
- ・LCM※(Win10特需終了) : ▲5.2億
- ・その他 : ▲4.5億

環境変化・  
物量増減他  
13.7

為替影響  
▲0.5

ポートフォリオ  
戦略の実行等  
▲0.5

新規受注  
+9.7

協創新規  
+2.9

生産性向上  
+12.5

154.0

- ・国内 : +7.2億
- ・国際 : +2.5億

+12.6

+25.1

戦略投資 : 2Q累計実績 11.7億円  
(前年差 ▲0.8億円)

▲11.2

2019年度2Q累計(実績)

2020年度2Q累計(実績)

※LCM : ライフサイクルマネジメントの略

# 2020年度第2四半期 決算概要 (海外地域別)

( 単位：億円、端数四捨五入、( )内は増減差 )

項目	売上収益				営業利益			
	2020年度				2020年度			
	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計		第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	
	実績	実績	実績	前年同期比	実績	実績	実績	前年同期比
北米	67	110	<b>177</b>	80%	-2.9	6.5	<b>3.6</b>	43%
欧州 <sup>※1</sup>	118	164	<b>282</b>	86%	5.2	12.9	<b>18.1</b>	83%
アジア(中国除く)	78	85	<b>164</b>	81%	2.5	3.9	<b>6.4</b>	94%
中国	98	93	<b>191</b>	80%	5.6	5.3	<b>10.9</b>	480%
オセアニア他	13	11	<b>24</b>	116%	0.9	1.5	<b>2.4</b>	213%
連結消去等 <sup>※2</sup>	-6	-9	<b>-15</b>	(+2)	0.6	-3.5	<b>-2.9</b>	(+1.6)
計	368	455	<b>822</b>	83%	11.8	26.6	<b>38.4</b>	107%

※1. トルコは欧州に含む

※2. バンテック顧客関連資産償却は連結消去等に含む



## 2020年度2Q累計：受注・立上状況

(単位：件)

		2019年度	2020年度	
		第2四半期累計	第2四半期累計	前年同期増減
受注	国内	11	4	-7
	国際	4	4	0
	計	15	8	-7
立上	国内	11	7	-4
	国際	3	5	2
	計	14	12	-2

### (参考1)2020年度2Q主な立上案件

国内：【自動車】クロスドッグセンター運営  
 【電機】物流センター運営  
 【車載電池】輸出倉庫運営  
 国際：【化粧品】物流センター運営

### (参考2)国内本部受注件数の推移

<新旧定義・単発案件(重量機工等)・小規模案件含む>



## 2020年度2Q新規案件 & 既存継続案件

### ■ 2020年度2Q新規案件



スポーツメーカー向け倉庫運営

機器メーカー向け倉庫運営

### ■ 既存継続案件



飲料メーカー向け  
DC運営・幹線輸送

アパレルメーカー向け倉庫運営

**着実な新規案件の積み上げと  
既存案件の継続的な運営による収益寄与**

### ■ 2020年度2Q累計 新規寄与分 (単位:億円)

	売上収益	営業利益
国内	14	2.0
国際	3	0.8
その他	1	0.1
<b>協創効果</b>	<b>18</b>	<b>2.9</b>

上記表にはAITとの協創効果を含む

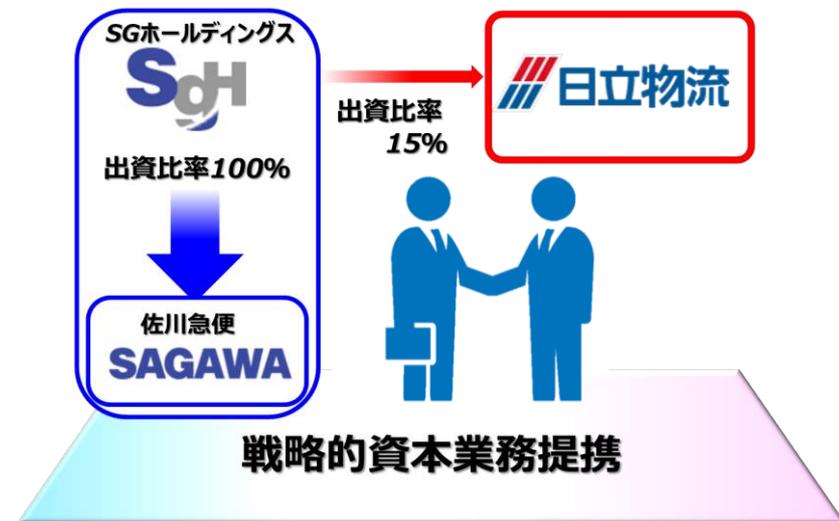


## 継続的な効果創出と新たな協創に向けた取り組み

### 【変更の内容】

- ・SGHが保有する当社株式の一部を取得、佐川急便株式の全てをSGHへ譲渡  
⇒ **協創・協業の取組みは変更なし。協創効果の継続的な創出・拡大**

### 1. 出資比率



- 佐川急便株式譲渡益：約49億円（連結）  
（「その他の収益」に計上）

### 2. 自己株式取得と活用

- ・取得総額：約988億円
- ・株式総数：27,675,000株

#### ■ 議決権比率・所有比率(2020年9月末時点)

主要株主	議決権比率	所有比率
日立製作所	39.9%	29.9%
SGH	15.3%	11.5%
当社自己株式	-	25.0%

- ✓ **新たなパートナーとの協創に向けた自己株式の活用**  
(海外・フォワーディング事業等)



- ✓BS影響：自己株式の取得による親会社株主持分の減少  
佐川急便 株式譲渡による関係会社株式の減少
- ✓PL影響：佐川急便 株式譲渡益（2020年度2Q）  
佐川急便 株式譲渡益への課税（2020年度2Q）  
持分法投資利益の減少（2020年度3Q以降）

## B/S影響

項目	影響
資産の部合計	・現預金、佐川急便株式の減少
負債の部合計	影響なし
資本の部合計	・親会社株主持分の減少

## P/L影響

項目	影響
売上収益	影響なし
調整後営業利益	
EBIT	・佐川急便株式譲渡益 ・持分法投資利益の減少
税引前四半期利益	
四半期利益	・佐川急便株式譲渡益への課税

## 財務指標等への影響

	2019年度	2020年度	
		2Q	
総資産	8,791億円	約7,906億円	↘
親会社株主持分比率	26.5%	18.4%	↘

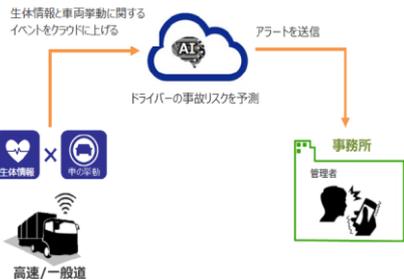
	2019年度	2020年度	
		2Q	
ROE	9.5%	13.9%	↗
ROA	2.4%	3.2%	↗
D/ELシオ※	1.1倍	2.0倍	↗

※有利子負債から現預金を減算して算出したネットD/ELシオを記載

・中期経営計画数値目標については、継続影響を踏まえて判断

## SSCV～スマート安全運行管理システム～ に関する特許取得

### 1. 事故リスク通知 (登録日:令和2年3月31日)



- ・生体情報や車両挙動から事故リスクを予測
- ・走行場所を加味して分析し危険と判断される場合に管理者へ通知

### 2. ドライブレコーダー動画切り出し通知

(登録日:令和2年6月8日)



- ・生体情報や車両挙動から事故リスクを予測
- ・危険と判断される場合に管理者へドライブレコーダー動画を切り出し通知

## 2020 日本パッケージング・コンテスト ～トリプル受賞～

### 1. ワンウェイ段積治具：経済産業省製造産業局長賞 (ジャパンスター賞)



### 2. 新型サイクロン掃除機の適正包装：適正包装賞

### 3. アジャスター着脱式緩衝材:大型・重量物包装部門賞

## 2020年9月「統合報告書2020」(日本語版・英語版)を新たに発行

↓ トップメッセージ



**LOGISTEED**

社会や産業が大きく変容するなか、  
ステークホルダーの皆様とともに  
「LOGISTEED」によってエコシステムを拡大し、  
将来価値への道筋をつけていきます。



↑ 価値創造プロセス

↓ 3 PL事業 (顧客業種別構成比を掲載)



↑ フォワーディング事業 (地域別取扱量を掲載)

当社Webサイトに  
掲載しております





# Ⅱ.2020年度 通期見通し



# 2020年度計画（概要）

（単位：億円、端数四捨五入、< >内は利益率(%)、( )内は増減差）

	2019年度		2020年度	
	通期		通期計画 (7.30公表)	前年比
売上収益	6,723		<b>6,510</b>	97%
営業利益	<5.0> 334.8		<4.8> <b>315.0</b>	94%
EBIT (受取利息及び支払利息 調整後税引前当期利益)	<5.9> 396.1		<5.9> <b>385.5</b>	97%
親会社株主に 帰属する当期利益	<3.2> 216.1		<3.3> <b>215.0</b>	99%
ROE	9.5%		※ <b>11.1%</b>	(+1.6%)
一株当たり配当	43円		※ <b>48円</b>	(+5円)

※7.30公表値から変更



## オーガニック：売上収益 5,831億円 (前年比99%) 営業利益 309億円 (前年比100%)

- ☑ **国内**：生活関連（日用品・メディカル・EC等）の取扱量は平準化傾向
- ☑ **北米**：自動車産業は7月以降、段階的に稼働再開
- ☑ **欧州**：インターモーダル事業は回復傾向
- ☑ **アジア・中国**：域内生産・消費は回復、輸出入は海外市場の影響有り
- ☑ **VHF**：物量の一定回復を見込むが構造改革を継続

## バンテック：売上収益 761億円 (前年比80%) 営業利益 15億円 (前年比39%)

- ☑ 収益性は緩やかに回復

⇒ **「輸送コアカンパニー」としての輸送ネットワークの強化  
(2020年10月「輸送事業強化プロジェクト」発足)**



### 【通期計画】

**売上収益※：6,510億円 (前年比97%) 営業利益※：315億円 (前年比94%)**

※売上収益には連結消去、営業利益にはバンテックの顧客関連資産償却を含む

## バンテックを「輸送コアカンパニー」とした輸送ネットワーク強化

### ■ 集中配車センター構想

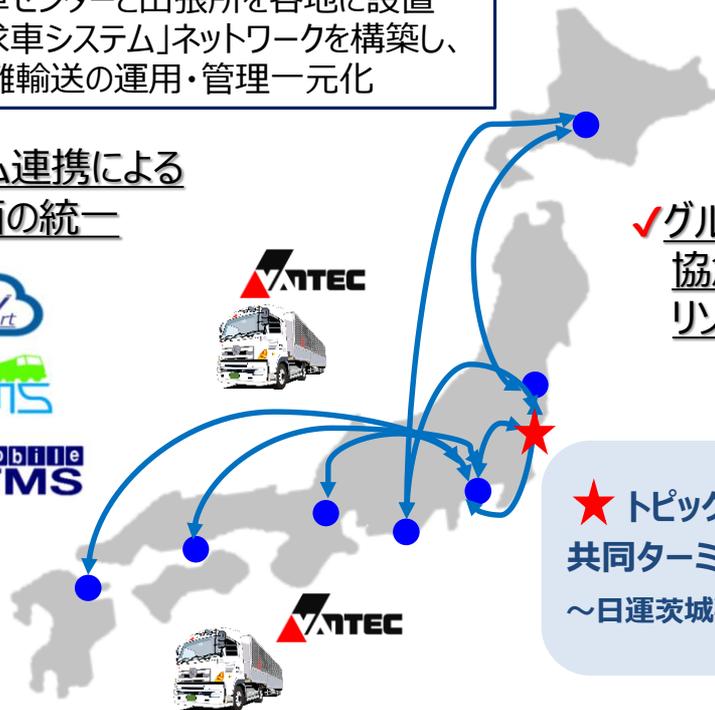
- ・集中配車センターと出張所を各地に設置
- ・「求貨・求車システム」ネットワークを構築し、中長距離輸送の運用・管理一元化

✓ システム連携による  
管理面の統一



● 集中配車センター・出張所

✓ グループ輸送部門と  
協創パートナーとの  
リソース連携



★ トピックス : 2021年2月  
共同ターミナル建設(茨城県東海村)  
～日運茨城事業協同組合との協業～

バンテックをコアとした当社Gr  
および輸送協力会社のフリート  
リソースを効率的かつ最大限に  
活用



高品質で持続可能な  
輸送サービスの提供

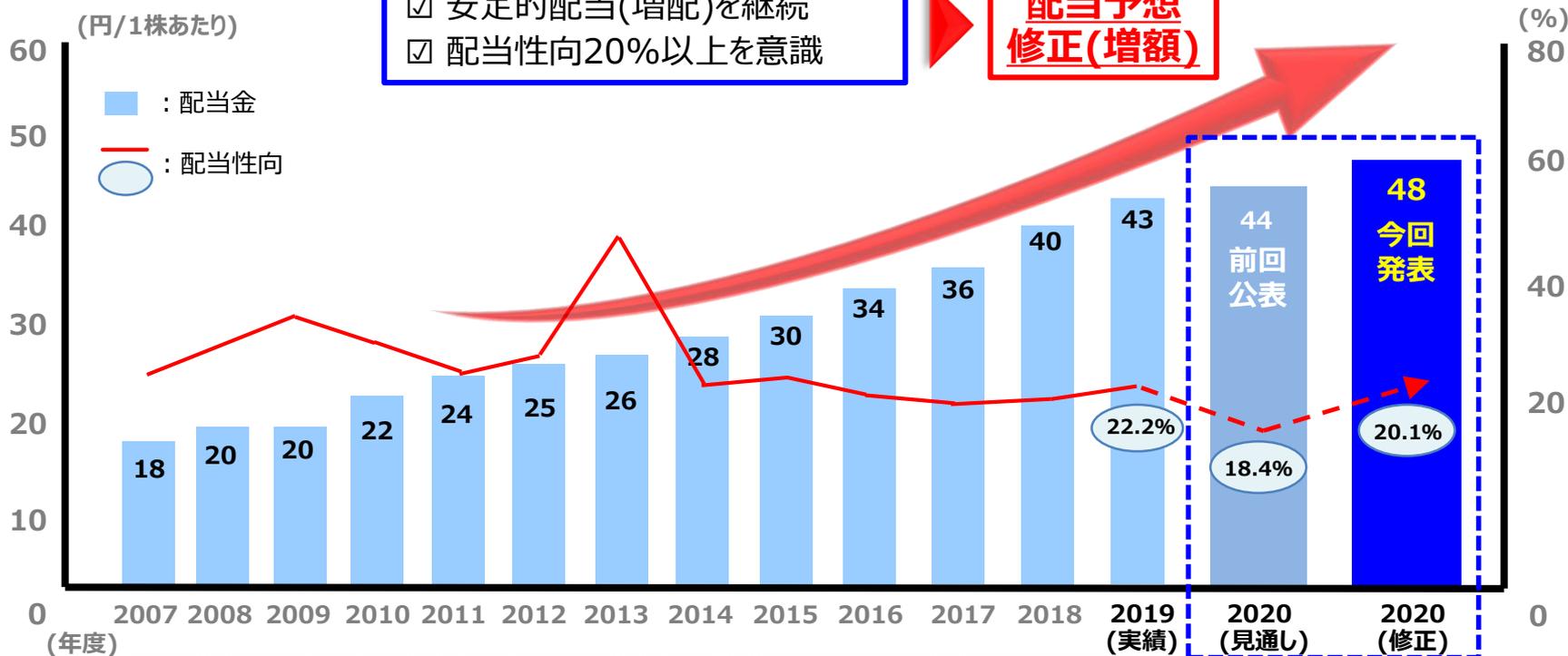
フィジカル強化により  
輸送デジタルプラットフォーム  
構築を加速



## ■ 配当金推移と計画

- ☑ 安定的配当(増配)を継続
- ☑ 配当性向20%以上を意識

**配当予想  
修正(増額)**



日本基準適用

IFRS適用

TSR(株主総利回り)はTOPIXをアウトパフォーム  
\* 2015年3月末日の株価を100とした指数

年度	2015	2016	2017	2018	2019
当社TSR (%)	105	131	170	189	139
配当込みTOPIX (%)	89	102	119	113	102



# Ⅲ. 今後の事業戦略

2019年5月24日発表 中期経営計画「LOGISTEED2021」より



## ☑プラットフォーム群の事業化

- ・倉庫PF：SWH（ECPFセンター）  
実証完了（収益化）→多拠点化へ
- ・輸送PF：SSCVファミリー（Safety・Smart・Vehicle）  
Smart（提供開始：10月）  
Safety（トラック業界以外への展開＋産官学連携  
→社会が共有する安全・安心のインフラ化へ）
- ・デジタル事業基盤：SCDOS  
SC可視化/最適化コンサル開始→ユースケースの拡大



【中期経営計画（累計）】

1,530億円



戦略投資 860億円

- ☑DXの推進、IT基盤構築  
〔ビッグデータマネジメント導入  
輸送デジタル 他〕
- ☑新技術開発  
(R&D、事業化検証 他)
- ☑新事業開発  
(スマートエアハウス・SSCV 他)
- ☑人財・安全等
- ☑M&A・資本政策他

折り返し  
地点

## ☑累計投資額<sup>※</sup>（キャッシュベース）

- ・事業投資：360億
- ・戦略投資：300億（含むM&A・資本政策等：220億）  
「パレネット」「日立物流東日本流通サービス」  
「自己株式取得」等

投資残枠：700億超

※配当金を除くFY20見通し

## LOGISTEED2021のゴールに向けて 地域・事業の領域を超えたエコシステム(経済圏)の形成・拡大

- ☑戦略投資継続：DX分野（SWH・SSCV・SCDOS他）  
：海外事業（地域完結モデル強化・フォーワーディング）

自己株式・キャッシュの  
機動的活用

## SSCVソリューション(Safety、Smart、Vehicle)を通じた 輸送事業者の課題解決・事業成長のサポート

### ■「SSCV-Smart」提供開始 (2020年10月～)

- ・受発注、配車・運行管理、請求管理業務等のデジタル化・効率化
- ・「SSCV-Safety」「SSCV-Vehicle」との連携・パートナーとの協創による機能拡張⇒利便性向上を実現



### 【SSCVソリューション】



業務効率向上  
法令順守



安全運行管理  
事故ゼロの社会



車両整備の最適化  
故障予兆・予防整備

サステナブルで強い輸送事業

### 【イメージ図】

事業継続のための課題の共有と解決

貨物輸送事業



旅客輸送事業



商用車・営業用



オープンなSSCVサービス提供

異業種との連携によるCSVの追求

スマートシティ  
まちづくり事業



作業労働者の  
データヘルス事業



損保・保険企業の  
新補償制度



フリート向け  
サービス事業



データドリブンな新サービスの創出

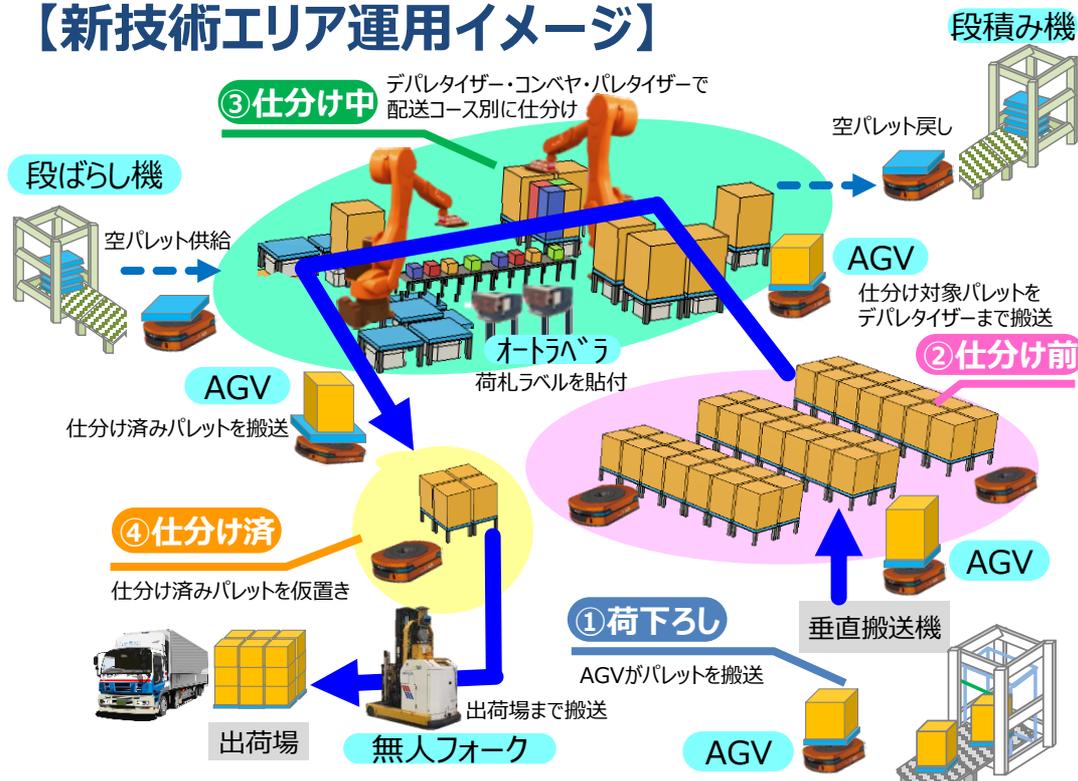




## 東日本第二メディカル物流センター (2021年2月稼働予定)



### 【新技術エリア運用イメージ】



場所	埼玉県加須市
面積	約32,000㎡ (延床面積)
主要設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備、・危険物倉庫</li> <li>・空調監視システム</li> <li>・監視カメラ 等</li> </ul> <p><b>GDPに準拠し、且つ当社の運営ノウハウを活かした物流センター</b></p>

■ 2021年に事業所見学会を開催予定

### AGV活用による低コスト化・省スペース化を実現

⇒従来型のケースソーターや順立機が不要となり、レイアウトや運用に柔軟性を持たせることが可能



## 『可視化』『シミュレーション』『最適化』に向けた基盤の構築

お客様のサプライチェーンをデジタル化



### 可視化 DX Solution

- 1 ロジスティクスの見える化
- 2 物流事業者データの一元管理

### 分析 DX Solution

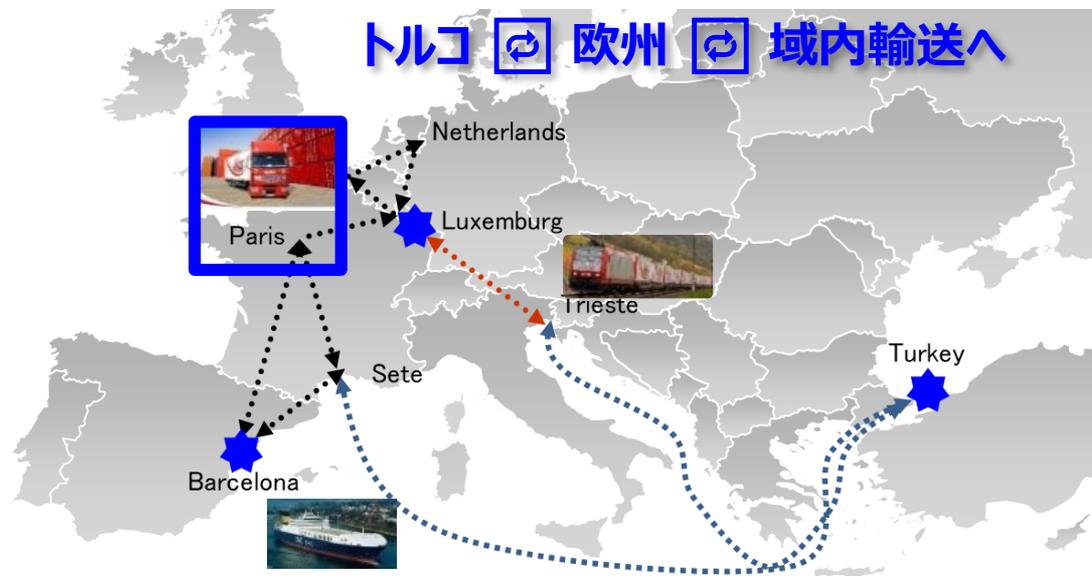
- 3 在庫管理の高度化
- 4 貨物トラッキング
- 5 物流コストの全体最適

### シミュレーション DX Solution

- 6 ネットワーク設計
- 7 リスク管理

© Hitachi Transport System, Ltd. 2020. All Rights Reserved.

## MARS社(トルコ)によるフランス子会社設立



### ■ 新会社の概要

MARS LOGISTICS FRANCE SAS  
営業開始：2020年度中  
事業内容：輸送（FTL・LTL）  
・クロスドックオペレーション

### 欧州進出プラン

- Step 0 2012年度(ルクセンブルグ)子会社設立
- Step 1 2019年度(スペイン)子会社設立
- Step 2 2020年度(フランス)子会社設立
- Step3~ 2021年度以降:英国含む他国へ進出

「トルコ・欧州間のインターモーダル」+「スペイン・フランスの輸送(FTL・LTL)・クロスドック機能」  
⇒ 欧州域内をカバーする輸送ネットワークの実現（地域完結モデルの構築）



## 自己株式の活用

## キャッシュの活用

**SSCV**  
Smart & Safety Connected Vehicle

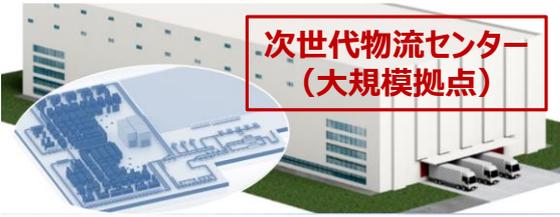
<b>効率化</b> <b>Smart</b> 業務効率向上 法令遵守	<b>安全</b> <b>Safety</b> 安全運行管理 事故ゼロの社会	<b>車両整備</b> <b>Vehicle</b> 車両整備の最適化 故障予兆・予防整備
--	---	--



### フォワーディング 事業強化



## SMART:WAREHOUSE



### 次世代物流センター （大規模拠点）

**SCDOS**  
Supply Chain Design & Optimization Services

日立物流が推進する  
SCDOSのサプライチェーンデザイン

# 地域・事業の領域を超えたエコシステム（経済圏）の形成・拡大



## IV.補足資料

〔 財政状態、キャッシュ・フローの状況、  
主要財務指標、営業費用 他 〕

(単位：億円)

項目	2019年度	2020年度	
	通 期	第2四半期	増減額
(資産の部)			
流動資産	2,674	<b>2,361</b>	-314
非流動資産	6,117	<b>5,546</b>	-571
資産の部合計	8,791	<b>7,906</b>	-885
(負債の部)			
流動負債	1,678	<b>1,522</b>	-156
非流動負債	4,721	<b>4,868</b>	147
負債の部合計	6,399	<b>6,390</b>	-9
(資本の部)			
親会社株主持分	2,329	<b>1,453</b>	-875
非支配持分	64	<b>64</b>	0
資本の部合計	2,393	<b>1,517</b>	-876
負債・資本の部合計	8,791	<b>7,906</b>	-885



(単位：億円)

項目	2019年度	2020年度	
	第2四半期累計	第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	392	<b>294</b>	-98
投資活動によるキャッシュ・フロー	-30	<b>780</b>	809
財務活動によるキャッシュ・フロー	-224	<b>-1,394</b>	-1,170
現金及び現金同等物に係る換算差額	-7	<b>4</b>	11
現金及び現金同等物の増減	131	<b>-317</b>	-448
現金及び現金同等物の期首残高	1,084	<b>1,390</b>	306
現金及び現金同等物の期末残高	1,215	<b>1,074</b>	-142



## 主要財務指標等

項目		2019年度 通期	2020年度 第2四半期
親会社株主持分 (○は親会社株主持分比率(%))	(億円)	26.5 2,329	18.4 1,453
1株当たり親会社株主持分	(円)	2,087.52	1,736.46
基本的1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益 (EPS)	(円)	193.76	123.20
親会社株主持分四半期利益率 (ROE)	(%)	9.5	※ 13.9
総資産利益率 (ROA)	(%)	2.4	※ 3.2
株価純資産倍率 (PBR)	(倍)	1.13	1.91

※ 年換算

## 主要営業費用

(単位：億円、( )内は構成比(%))

項目	2019年度		2020年度			
	第2四半期累計		第2四半期累計		前年同期	
					比率	増減
外注費	(49.3)	1,679.6	(48.2)	1,478.4	88%	-201.2
人件費	(23.9)	813.1	(25.1)	770.0	95%	-43.1
賃借料	(3.3)	113.0	(2.8)	85.6	76%	-27.4
償却費	(7.6)	258.3	(8.5)	259.4	100%	1.1



## 設備投資

(単位：億円)

項目	2019年度		2020年度
	第2四半期累計	通 期	第2四半期累計
自家投資額 <sup>※1</sup>	90.7	182.5	<b>118.4</b>

※1.固定資産計上ベース

## (参考) 人員<sup>※1</sup>

(単位：人)

項目	2019年度		2020年度
	第2四半期末	通 期	第2四半期末
社員	24,248	23,837	<b>23,069</b>
パート・派遣社員等 <sup>※2</sup>	21,827	21,491	<b>21,187</b>
計	46,075	45,328	<b>44,256</b>

※1.持分法適用関連会社人員を除く ※2.シニア社員を含む

## 参考資料 業態別実績（概算値）

（単位：億円）

	2019年度 第2四半期累計			2020年度 第2四半期累計		
	売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率
国内	1,872	110.8	5.9% (5.9%)	1,826	115.0	6.3% (6.3%)
海外	394	25.3	6.4% (6.9%)	356	22.4	6.3% (6.8%)
<b>3PL</b>	<b>2,266</b>	<b>136.1</b>	<b>6.0% (6.2%)</b>	<b>2,182</b>	<b>137.4</b>	<b>6.3% (6.4%)</b>
国内	152	1.2	0.8% (2.2%)	120	-0.4	- (1.5%)
海外	356	2.9	0.8% (1.3%)	291	10.6	3.7% (4.1%)
<b>フォワーディング</b>	<b>508</b>	<b>4.1</b>	<b>0.8% (1.6%)</b>	<b>411</b>	<b>10.2</b>	<b>2.5% (3.3%)</b>
国内	311	8.3	2.7% (4.0%)	227	-4.9	-
海外	230	7.1	3.1% (3.4%)	169	5.2	3.1% (3.1%)
<b>オート</b>	<b>541</b>	<b>15.4</b>	<b>2.8% (3.8%)</b>	<b>397</b>	<b>0.3</b>	<b>0.1% (1.2%)</b>
その他サービス	92	9.7	9.7% (9.7%)	75	6.1	8.1% (8.1%)
<b>合計</b>	<b>3,408</b>	<b>165.2</b>	<b>4.8%</b>	<b>3,064</b>	<b>154.0</b>	<b>5.0%</b>

※（ ）内は顧客関連資産償却費を除く



2020年10月28日

# 2020年度（2021年3月期） 第2四半期 決算説明資料

 株式会社 日立物流

**HITACHI**  
Inspire the Next



物流は新領域へ  
**LOGISTEED**